

文京通信

ふみのみやこ

文部科学省認可通信教育

放送大学東京文京学習センター
機関誌 No. 7

2019年1月発行



目次

6年間の日々	前所長	岡野達雄	2 頁
客員紹介 社会課題を解決するための活動一体型研究	客員教員	中邑賢龍	3 頁
〃 思考としての音楽	客員教員	永原恵三	3 頁
放送大学東京学友同窓会だより	東京学友同窓会会長	齊藤成吾	4 頁
クラス会活動報告および今冬開催のお知らせ	クラス会支援委員会委員長	中村由美	4 頁
【お知らせ】2019年第1学期より面接授業が変わります！			5 頁
平成最後の学園祭（茗荷祭）	学園祭実行委員会事務局長	小瀧千春	6 頁
学生研修旅行について			6 頁
行事報告（2018年 8月～2019年 1月）			7 頁
行事予定（2019年 2月～2019年 7月）			8 頁
編集後記			8 頁

6年間の日々

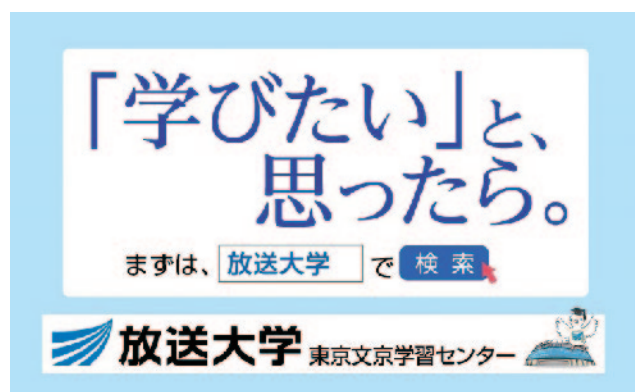
前所長 岡野 達雄

東京文京学習センターの所長を拝命してから
の6年間は、長くもあり短くもありましたが、私
の人生において最も色々な人達とのつながりを
得ることができた貴重な時間でした。停年まで30
余年勤務してきた大学での日々が如何に狭い範
囲で暮らせていたかということを痛感しました。

昨年3月に退職してから1年近く経ってから
退職のご挨拶をするのも如何かと思われま
すが、6年間の在任中に様々な局面で支援して
いただいた教職員・学生の皆様には心より感謝
申し上げます。前任の桂井所長より引き継いだ
竣工して間もない学習センターの施設を放送大
学のために最大限活用することを目標として所
長職をスタートいたしました。今思うと放送大
学の学生のごことも生涯学習についても全く理
解しておらず、漸く片鱗が判るようになるま
では随分と時間がかかりました。学習センタ
ー内で出会う学生の皆さんと話をすることが最
も勉強になりました。放送大学には、「平均的な
学生」というものが存在しないと思いついたの
は着任してから2年程のことです。在学してい
る学生の年齢、職業、学習経験、入学目的など
どれをとっても意味のある平均量を定義でき
ないものばかりです。別の言い方をすれば、放
送大学は、学生一人一人が自分の学びの場を創
る過程であるとも言えます。放送大学のブランド
価値に悩む学生もおられるかもしれませんが、
“〇〇大学×学部卒業”という価値ではなく、
自分の大学を創り上げる機会がある大学に在
学することを誇りに思っていたと考えておりま
す。大学において必須の要素は、学ぶ仲間の存
在だと思います。様々な人生経験を持ち、かつ
、学びを志す人達が交流することができる場
所として放送大学は我国で唯一無二の存在で
す。放送大学設立に当たられた方々のお考え
を深く研究することなく退任に至ってしまいま
したが、自分の意識としては、学生の皆様が学

ぶを楽しみ、深化させる場として学習センター
を機能させることを目指して所長職を務めてき
ました。色々と思当違いのことも多く、周辺に
ご迷惑をおかけしていたかと今になって反省し
ておりますが、文京学習センターの恵まれた環
境を多くの学生の方に活用していただきたいの
気持ちは変わりません。学位取得、資格取得を
目指して入学された方々が目的を成就するた
めに支援できることはないか？卒業を果たさ
れた方々が、学びを楽しむ境地に入っていだ
くするために支援できることはないか？これら
の課題には有効な方策を見つけることが出来
ないままに退任となってしまいました。

3月に退任してよりは、全科履修生として学
生の仲間に加えていただいております。1学期
は、人生の折り返し点と身体の方が勝手に決
め込んで、病院通いが続き、単位を取得でき
ずに終わりましたが、体重は画期的に減少し、
運動機能は格段に向上いたしました。在任中、
学生の皆さんに、「放送大学はチャレンジです」
とか「一歩踏み出してみましょ」などと言っ
てきたことを実践しなければという気持ちで、
自分にとって全く不得手で一生近づきまい
と思っていた合唱を始めました。指導の永原
先生と合唱ゼミ参加者の皆様のお陰で、や
らないでいるよりも思い切って始めた方がず
っと良いことを実感できました。学ぶ仲間
のきずなを大切に放送大学の学生生活を楽
しんで行きたいと思う昨今です。学習セン
ター等で皆様にお会いできることを楽しみに
しております。



客員紹介

社会課題を解決するための活動—体型研究

客員教員 中邑 賢龍

私の専門は心理学でした。過去形で話すのは変ですが、今はそれをベースに社会課題を解決する活動と研究を多くの専門家を巻き込みながら行っています。

社会には様々な困難を抱える人がいます。残念ながら大学の研究は細分化され過ぎた結果、社会の課題と大きく離れしまい、それを意識する研究者も少なくなっています。その反省からか大学でも最近はSDGS（持続可能な開発目標）という言葉をよく聞くようになりました。その中には、貧困を無くそう、質の高い教育をすべての人に、飢餓をゼロになどの目標が提示されていますが、私はそれを意識しているのではありません。身近に起こる社会の様々な問題に憤りを感じているだけです。そこで、「読み書きが困難な子供がワープロを使って受験することがなぜ認められないのか?」、「個性豊かな子供たちがなぜ学校から追い出され意欲を失っていかねばならないのか?」、「医療的ケアで命を救われた子供達のコミュニケーションが難しいままでいいのか?」といった課題に立ち向かっています。研究室に籠って論文を読むよりも、できるだけ現場に出て当事者から話を聞くことに多くの時間をとっています。今の学会にはあまり魅力を感じていません。でも学問は大好きです。論文を書くことを目的とするのではなく、活動し社会を少しでも動かした結果として論文が書ければいいと思っています。学生の皆さんも今の研究テーマが社会のどんな課題と結びつくか意識してみてください。あるいはテーマに悩むなら解決したいと思う社会の課題を見つけて下さい。きっと今よりも研究が楽しくなるはずです。

客員紹介

思考としての音楽

客員教員 永原 恵三

私の専門は音楽学と声楽ですが、私は学問的に考えることと、実践者として歌ったり指揮をしたりすることとは、相互に関連し合い、実践という具体的な音楽行動があつてはじめて音楽を理論的に考えることができると思っています。たとえば、合唱であつたり、カトリックのミサの音楽であつたりします。他方、祭礼や儀式の音楽にも深い関心を持っています。

私はもともと西洋音楽の美学を研究していましたが、実践者つまり演奏者の立場で音楽を考えていました。そのことは美学という感性の学問では論じられないことであり、むしろ1980年代から急速に発展した民族音楽学での、音楽を生み出すプロセスの研究に基盤があることがわかってきました。さらにその現場主義も、実践者としての私自身のあり方に共通するところがありました。

大阪大学での恩師である谷村晃先生の「人間の営みとしての音楽」、そして同じく山口修先生の「音楽は感性のみならず知性や理性の結果である」という考え方に支えられて、近年では「思考としての音楽」や「ロゴスとしての音楽」という考え方に至っています。放送大学でベートーヴェンの第九交響曲に関する面接授業をしたおりに、この音楽を演奏と理論の両面から捉えると、ベートーヴェンによる音を「言葉」とした、まさに「思考」や「ロゴス」と言わざるを得ない世界が垣間見られたように思います。

大晦日の『紅白歌合戦』で頻繁に発される言葉に「思い」があります。たしかに歌に「思い」は付きものです。しかし、「思い」だけでは1曲を歌い上げることはできません。そこにあるのは「心」かもしれません。「心」とはまさに「思考」という人間が人間である証ではないでしょうか。

放送大学東京学友同窓会だより

ー関東甲信越地区交流会の紹介ー

会長 齊藤 成吾

放送大学同窓会連合会では、主要な活動として、全国を6地区ブロックに分け、「各地域に密着した生涯学習」という趣旨に沿った活動を目指し、その主導的な役割を担う活動を推進しております。

当東京学友同窓会が所属している関東甲信越地区では、10月13日(土)&14日(日)に東京足立学習センター(足立・学びピア)において、第6回関東甲信越地区交流会が開催されました。

初日(13日)は、開会挨拶(足立同窓会会長及び足立SC所長)の後、大学本部図書館長・近藤成一先生による「放送大学の現状の課題と同窓会への期待」と題したご講演をいただきました。

引き続き、金田栄一・放送大学客員教授による「宿場として栄えた千住の町」のご講演に江戸時代・千住の役割を再認識させられました。

その後、関東甲信越地区各同窓会の活動状況と意見交換会が行われました。今年のテーマは「同窓会及び学生の地域でのユニークな活動状況・概要紹介」でした。

二日目(14日)はご講演をいただいた金田先生による「北千住散策」で実りの多い二日間でした。因みにこれまで実施された全国地域交流会一覧表を下記に示します。(計35回)

放送大学同窓会連合会地域別交流会開催一覧表(2018.10.30現在)

No.	年	開催日	地区交流会	協 賛	備 考
1	2012(第1回)	2012.8.25(金)	九州・沖縄地区交流会①	放送大学熊本SC	
2		2012.9.15	近畿地区交流会①	所沢・佐藤村吉行 氏	
3	2013(第2回)	2013.4.20(土)	中国・四国地区交流会①	岡山大学中井 氏	
4		2013.5.16(土)	東北・北海道地区交流会①	北海道大学北海道 SC	
5		2013.10.19(土)	関東甲信越地区交流会①	東京学友同窓会	
6	2014(第3回)	2014.4.19(土)	近畿地区交流会②	所沢・佐藤村吉行 氏	
7		2014.5.10(土)	中国・四国地区交流会②	岡山大学中井 氏	
8		2014.6.21(土)	東北・北海道地区交流会②	北海道大学北海道 SC	
9		2014.9.06(土)	関東甲信越地区交流会②	東京学友同窓会	
10		2014.10.17(土)	近畿地区交流会③	所沢・佐藤村吉行 氏	
11		2014.11.16	中国・四国地区交流会③	岡山大学中井 氏	
12	2015(第4回)	2015.4.7(土)	東北・北海道地区交流会③	北海道大学北海道 SC	
13		2015.5.09(土)	関東甲信越地区交流会③	東京学友同窓会	
14		2015.9.05(土)	近畿地区交流会④	所沢・佐藤村吉行 氏	
15		2015.9.19(土)	中国・四国地区交流会④	岡山大学中井 氏	
16		2015.11.14(土)	東北・北海道地区交流会④	北海道大学北海道 SC	
17	2016(第5回)	2016.4.16(土)	関東甲信越地区交流会④	東京学友同窓会	
18		2016.5.14(土)	九州・沖縄地区交流会②	放送大学熊本SC	
19		2016.6.18(土)	中国・四国地区交流会⑤	岡山大学中井 氏	
20		2016.10.15(土)	東北・北海道地区交流会⑤	北海道大学北海道 SC	
21		2016.10.29(土)	近畿地区交流会⑤	所沢・佐藤村吉行 氏	
22		2016.11.12(土)	中国・四国地区交流会⑥	岡山大学中井 氏	
23		2016.11.19(土)	関東甲信越地区交流会⑤	東京学友同窓会	
24	2017(第6回)	2017.4.15(土)	九州・沖縄地区交流会③	放送大学熊本SC	
25		2017.5.06(土)	中国・四国地区交流会⑦	岡山大学中井 氏	
26		2017.10.14(土)	東北・北海道地区交流会⑥	北海道大学北海道 SC	
27		2017.11.18(土)	近畿地区交流会⑥	所沢・佐藤村吉行 氏	
28	2018(第7回)	2018.4.14(土)	中国・四国地区交流会⑧	岡山大学中井 氏	
29		2018.5.12(土)	東北・北海道地区交流会⑦	北海道大学北海道 SC	
30		2018.9.16(土)	関東甲信越地区交流会⑥	東京学友同窓会	
31		2018.9.16(土)	中国・四国地区交流会⑧	岡山大学中井 氏	
32		2018.10.20(土)	東北・北海道地区交流会⑧	北海道大学北海道 SC	
33		2018.10.20(土)	近畿地区交流会⑦	所沢・佐藤村吉行 氏	
34		2018.10.20(土)	中国・四国地区交流会⑧	岡山大学中井 氏	
35		2018.10.20(土)	関東甲信越地区交流会⑦	東京学友同窓会	
36		2018.10.20(土)	中国・四国地区交流会⑧	岡山大学中井 氏	(予定)

クラス会活動報告および今冬開催のお知らせ

クラス会支援委員会委員長 中村 由美

昨年11月開催の17年度入学の第4回クラス会では、同学年生による今までの学びから今後の学習の展望について、さらに各班での懇談内容を全体会で分かち合いました。

同月開催の18年度前期入学の第2回クラス会では、馬場智理先生から、クラス会発足の大学の歩みや、AIと人間について講話いただきました。答えのある問題のAI活用以外の将来と倫理面について、多角的な視点での懇談になりました。

同日午後の同年度後期の第1回クラス会では、森義仁先生に今夏バンコクでの多様な先生方との活動や、他方狭い世間というパラドクス、共同研究者との幼児教育など、多様性 (diversity) についてスライドを交えて講話いただきました。

林徹所長は語彙classの意味と意義について、布施典明事務長は、在籍者の動向データとクラス会との関係性のお話をいただきました。

今冬2月は初めての15～17年度合同クラス会および18年度年次クラス会を開催します。プチギフトも準備中です。是非ご参加ください。

平成30年度・冬季のクラス会開催のお知らせ 15～17年度入学者対象・合同クラス会

(日時) 平成31年2月9日(土) 14:00～17:00

講話 菅本 晶夫 先生 (物理学)

〔18年度入学者対象・年次クラス会〕

(日時) 平成31年2月10日(日) 14:00～17:00

講話 永原 恵三 先生 (音楽学・声楽)

*開場・受付 両日とも13:30から

*会場 両日とも東京文京学習センター多目的講義室1

*詳細 ポスターやチラシ、センターHPをご覧ください。

クラス会参加のご案内 Email classkai@ouj.ac.jp

件名に「クラス会参加希望」と明記の上、メール本文に入学年度と前後期、学生の種類、所属コース、学生番号、氏名、メールアドレスを記載して下さい。／QRコードも可能です。



放送大学生の皆様へ

2019年第1学期より面接授業が変わります！

大学設置基準(文部科学省令)や文部科学大臣の諮問機関・中央教育審議会の答申において、「試験の上単位を与えること」「評価に当たって客観性及び厳格性を確保すること」「講義時間に試験の時間を含めないこと」「シラバスに受講前の準備学習等について記載すること」などが求められています。

本学においても正規の大学としてこれらの要請に適切に対応するため、面接授業について以下のとおり変更を行います。

- ◆ 総実授業時間(675分)を確保するため、原則として1コマの授業時間が**85分から90分**(最後の8時限目は45分)に変更となります。

*各学習センターの**時間割表も変更**となりますのでご確認ください。

- ◆ **授業時間とは別に成績評価のための試験・レポート等*の時間が設定**されます。

*筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。(シラバスに記載されているので、必ずご確認ください。)

*フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。

- ◆ 成績評価が放送授業、オンライン授業と同じく**合・否⇒A～Eの6段階に変更**となります。

評定	評語	筆記試験の点数【目安】
①	基準を大きく超えて優秀である。	100点～90点
A	基準を超えて優秀である。	89点～80点
B	望ましい基準に達している。	79点～70点
C	単位を認める最低限の基準に達している。	69点～60点
D	単位を認める最低限の基準を下回る。	59点～50点
E	基準を大きく下回る。	49点～0点

*D、Eは不合格。3回以上欠席の場合は、評価を行わない(「―」と表記)。

なお、原則として全講義出席を前提。

- ◆ シラバスに面接授業**「受講前の準備学習等」**について記載されます。

放送大学では、今後とも多様な面接授業を開設してまいります。



問い合わせ先 放送大学学園本部 TEL 043-276-5111(代表)

平成最後の学園祭（茗荷祭）

学園祭実行委員会事務局長 小瀧 千春

今年の学園祭は9/15(土)・16(日)の2日間にわたり、学園祭実行委員会（学生サークル・SC・同窓会）の主催で開催されました。副題を SC Coming Day と称し、SC をホームと位置付け、広範囲の方々にご来校を呼びかけました。

学園祭実行委員会は5月から9月迄5回開催され、年一度のお祭りをいかに盛上げるか知恵を絞り合いました。

会場設定は昨年同様、2階を各サークル・同窓会の活動展示室等とし、多目的講義室1（B1）をメインイベント会場としました。講演会・ダンスパーティ・合奏・合唱・太極拳・懇親会等が開かれ、各サークルは1年間の成果を披露しました。

参加数は18（サークル・同好会16、SC、同窓会）で昨年より2サークルの減少でした。

初めての試みも2つありました。一つ目は、SC新企画として、初日に公開講演会（菅本品夫先生）があり、2日目の講演会（宮本文人先生）と合わせ貴重なご講演が2つ開催されました。2つ目は昨年、学園祭に直前参加されたグループがあり、進行に混乱を招いた反省から、今回は「学園祭参加登録・申込書」を作成し、この提出によって参加承認としましたのでスムーズに進行できました。

学園祭最後のイベント「懇親会」。今回は過去最高の138名の参加者を得て、達成感・解放感から大いに盛り上がり、又、昨年好評を博したプロお2人によるライブ「シャンソンの夕べ」に酔いしれる中、学園祭は無事お開きとなりました。

来年は新元号元年、日本中が何かを求めて湧き立つ様な時代の始まりです。当学園祭も心新たにチャレンジ精神を持って課題に取り組み、又一步前進した学園祭を目指したいと思います。

学生研修旅行について

本年の学生研修旅行は、台風一過で天候に恵まれ、非常に暑くなった9月5日（水）に学生・教職員、総勢68名（バス2台）にて実施されました。

今年度は、初めて都内（相撲博物館、回向院、富岡八幡宮、深川江戸資料館）を回るコースを企画いたしました。面接授業担当教員の櫛原先生始め、ご協力いただいた関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

アンケートを回収した結果、企画の時期（良い 85.71%）、借り上げバス（良い 93.36%）、相撲博物館（良い 89.09%）、回向院（良い 90.91%）、富岡八幡宮（良い 89.09%）、深川江戸資料館（良い 92.73%）、参加費（納得する 87.04%）、来年度以降も参加する（92.59%）でした。

唯一、企画側としての反省点として、今回は、相撲がテーマだった関係で、昼食場所を「ちゃんこ鍋」にした結果、良いが59.26%と、昨年、今年とアンケートを取っていますが、初めて60%を割り込みました。要因については、当日、天気良すぎて暑かったことに加えて、全員が同時に昼食を取れるスペースがちゃんこ屋という場所で、全員が入れたのですが、室内で火を使ったため、冷房がまったく効かないという事態に陥ったことでした。

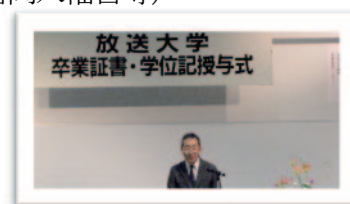
今後、昼食場所を設定する際は、考慮したいと思いますので、来年もご参加をお願いします。



【写真：放送大学附属図書館所蔵】

○ 2018年8月～2019年1月までの行事報告

8月 1日 (水) ～ 2日 (木)	単位認定試験 (学部)
8月 4日 (土) ～ 5日 (日)	単位認定試験 (学部)
8月 8日 (水)	面接授業終了
8月12日 (日) ～15日 (水)	夏期臨時閉所
8月18日 (土)	公開講演会 (大山 泰宏 先生)
8月25日 (土) ～26日 (日)	教員免許講習修了認定試験
9月 1日 (土)	公開講演会 (泉 麻人 先生)
9月 5日 (水)	学生研修旅行 (相撲博物館・富岡八幡宮等)
9月15日 (土) ～16日 (日)	学園祭 (茗荷祭)
9月22日 (土)	卒業証書・学位記授与式
9月28日 (金) ～29日 (土)	看護師資格取得単位認定試験
10月 2日 (火)	学生証発行
10月 6日 (土)	臨時閉所・大学院入学試験 (筆記) 【林 徹 所長】
10月 7日 (日)	入学者の集い



←【学歌斉唱】



【学び方ガイダンス】→

10月17日 (水)	公開講演会 (森 義仁 先生、永原 恵三 先生)
10月24日 (水)	面接授業開始 (2月10日まで)
11月 4日 (日)	面接授業追加登録受付開始
11月25日 (日)	クラス会 (2017年度入学者)
	クラス会 (2018年4月入学者)
	クラス会 (2018年10月入学者)
11月30日 (金)	通信指導提出期限
12月16日 (日)	公開講演会 (村上 憲郎 先生)
12月28日 (金)	臨時閉所
12月29日 (土) ～1月3日 (木)	閉所日
1月 4日 (金)	臨時閉所
1月13日 (日)	公開講演会 (森 津太子 先生)
1月24日 (木)	単位認定試験 (大学院)
1月25日 (金)	単位認定試験 (学部)
1月26日 (土)	単位認定試験 (大学院)
1月27日 (日)	単位認定試験 (学部)
1月29日 (火) ～31日 (木)	単位認定試験 (学部)



【クラス会】

○ 2019年2月～7月までの行事予定

2月 2日 (土)	単位認定試験 (学部)
2月 9日 (土)	クラス会 (2017年度入学者)
2月10日 (日)	面接授業終了 クラス会 (2015年度・2016年度 合同) クラス会 (2018年度)
2月23日 (土)	大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得を目指す方への説明会
3月 2日 (土) ～ 3日 (日)	教員免許講習修了認定試験
3月23日 (土)	卒業証書・学位記授与式 (NHKホール)
4月 2日 (火)	学生証発行
4月 7日 (日)	入学者の集い
4月13日 (土)	面接授業開始 (8月4日まで)
4月19日 (金)	面接授業追加登録受付開始
5月21日 (火)	通信指導提出期間 (6月4日まで)
5月26日 (日)	クラス会 (2019年4月入学者)
6月22日 (土)	ガイダンス (大学院博士課程) ガイダンス (卒業研究)
6月23日 (日)	ガイダンス (大学院修士課程)
7月19日 (金) ～ 20日 (土)	単位認定試験 (大学院)
7月21日 (日)	単位認定試験 (学部)
7月23日 (火) ～ 25日 (木)	単位認定試験 (学部)
7月27日 (土) ～ 28日 (日)	単位認定試験 (学部)

ー編集後記ー

今回も、無事に機関誌を発行することが出来ました。

表紙の写真は、2018年1月22日 (月) に東京都心で23センチの積雪が記録された翌朝撮影したものです。単位認定試験の朝でした。多少交通機関は乱れたものの、文京学習センターでは大きな混乱も無く、無事、単位認定試験を終了することが出来ました。

本学習センターは比較的周りより高い土地に立っており、建物は耐震構造になっています。主な交通手段が地下鉄であるため、台風や水害など色々な自然災害に強い施設になっています。

発行者 東京文京学習センター 機関誌「文京通信」編集委員会
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1